



笛吹市 議会だより

平成25年1月22日発行

2013

Vol.33

GIKAI DAYORI



FUEFUKI CITY

平成25年元旦、境川町坊ヶ峯山頂にて、境川町体育協会主催による、恒例の「歩け歩け互礼会」が開催されました。干支・巳の特徴である探究心と情熱を、新年の抱負とし寄せ書きを行いました。(写真提供:境川町文化協会写真部)





笛吹市

議会だより 2013 Vol.33

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

議長・副議長就任あいさつ 3

新議会スタート 委員会・組合議員・会派構成 4 ~ 5

倉嶋市長・所信表明・行政報告 7

12月定例議会で決まったこと 8 ~ 9

一般質問(11人) 10 ~ 15

 渡辺 清美議員 中川 秀哉議員 大久保俊雄議員
 神宮司正人議員 神澤 敏美議員 亀山 和子議員
 渡辺 正秀議員 川村 恵子議員 岩沢 正敏議員
 志村 直毅議員 古屋 始芳議員

委員会レポート 16 ~ 17

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 18

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



議会日誌 GIKAI diary

9月 September

- 3日 全員協議会、第3回定例会本会議、議会広報編集委員会
- 4日 峡東地域広域水道企業団議会全員協議会
- 5日 第3回定例会本会議(代表質問)
- 6日 第3回定例会本会議(一般質問)
- 10日 各常任委員会
- 11日 各常任委員会
- 13日 峡東地域広域水道企業団議会
- 14日 各常任委員会
 リニア活用基本構想意見交換会
- 19日 各常任委員会
- 20日 各常任委員会
- 21日 全国消防操法大会出場隊激励式
- 26日 議会運営委員会、全員協議会
 第3回定例会本会議
- 27日 石和第5保育所竣工開所式
- 28日 森林公園金川の森清掃活動

10月 October

- 1日 議会広報編集委員会
- 2日 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
 東山梨環境衛生組合議会
- 4日 甲府・峡東地域ごみ処理組合議会
- 7日 全国消防操法大会激励
 山梨県身体障害者連合福祉会市町村議会議員懇談会
- 9日 市議会議長会定期総会
- 10日 議会広報編集委員会
- 11日 男女共同参画研修会
- 12日 市制施行8周年記念式典、東山梨行政事務組合議会
- 21日 市長・市議会議員選挙投票日

- 22日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 23日 全員協議会

11月 November

- 5日 峡東地域広域水道企業団議会議員研修
- 6日 第3期議員研修会・懇談会
- 12日 埼玉県北本地区衛生組合行政視察来庁
- 15日 全員協議会、第1回臨時会
- 17日 市文化祭開会式
- 18日 市一周駅伝競走大会開会式
- 20日 市戦没者合同慰霊祭
- 21日 議会運営委員会・全員協議会
 笛吹地区暴力追放委員会定期総会
- 27日 第2回臨時会
- 28日 青木が原ごみ処理組合臨時議会
- 30日 議会運営委員会、全員協議会、議会広報編集委員会

12月議会・会期日程

- 12月7日(金) 全員協議会
 開会
- 本会議
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 市長所信表明・行政報告
- 提出議案の説明
- 総括質疑・付託
- 12月10日(月) ~ 11日(火)
- 一般質問
- 12月12日(水) ~ 14日(金)
- 各常任委員会
- 付託案件・事件審査
- 12月19日(水) 全員協議会
 本会議
- 各委員会の審査報告
- 質疑・討論・採決
- 閉会

議長に前島敏彦氏が就任

副議長には野澤今朝幸氏

多様な民意を議会に反映

議長 前島 敏彦



能の強化を積極的に進めてまいります。

昨年11月15日の臨時議会において、議員各位のご推挙により、市議会議長の重責を担わせていただくこととなりました。身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますと共に、その責務の重大さを痛感しております。もとより浅学非才の身であります。全力を傾注して職務に邁進してまいります。首長と共に、住民の直接選挙で選ばれる議員で構成する議会は、二元代表制の一翼を担う重要な機関であり、私どもは多様な民意、ニーズを吸収し、住民自治確立を目指し、首長に対する監視機能だけでなく、議員自らの政策立案、政策提言機

能の強化を積極的に進めてまいります。今、日本は行き先の見えない経済、デフレの渦中であり、就職率は下降し、若者は未来に夢や希望を失っているのが現状です。このような中で、本市に目を向けると、一昨年の3・11東日本大震災以降、基幹産業である農業・観光・温泉、それぞれ大変厳しい経済状況の中、市民は汗水を流し、日夜奮闘しております。このような状況下でこそ、議員各位が丸となり、分権時代の議会にふさわしい住民本意の議会運営を目指します。市民の皆さま方には、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のあいさつといたします。

副議長就任にあたって

副議長 野澤今朝幸



市民の皆さまが目指してもらいたいと思っているのは『誰もがともに、幸せに暮らせる笛吹市づくり』と思います。言葉で言うのは簡単ですが、いざ実際実現するとなると、とても難しいことです。

もうお屠蘇気分じゃないかもしれませんが、改めて市民の皆さん！明けましておめでとございませう！輝かしく希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。議長改選とともに行われた副議長の改選によって選出されました。よろしくお願い申し上げます。議会でもっとも重い職責を担う議長を支えるのが副議長ですから、このことを十分自覚してその職務を全うできるよう、精一杯頑張っていく所存です。市民の議会への期待は「市政へのチエックと提案」です。この機能をフルに使って、

その実現に向けて、議会にもっともつと「市民に開かれた議会」に改革していかなくてはなりません。前島議長を助けて、議会改革もしつかり進めていく所存です。市政をチエックするのは議会の仕事です。その議員をチエックするのは市民の仕事です。そういう中で、議会としても緊張感をもってやっていきたいと思っております。市民の皆さん、よろしくお願いたします。

新議会スタート

委員長 副委員長

総務常任委員会



野澤今朝幸

市民の大きな期待。
感じています。応えます。



荻野 謙一

市民のための行政、議会改
革、公正公平な市政運営



梶原 清

希望が持てる笛吹市づ
くり全力投球します



志村 直毅

情報公開と説明責任。
ネットでも情報発信！



渡辺 正秀

市民の願い届く議会へ
議会改革に全力投球



渡辺 清美

一人の声を大切に現場
第一主義に徹します



保坂 利定

あなたと共に創る、
豊かで、活力ある笛吹市



上野 稔

安心・安全な街作り。
防災・減災に取り組む



岩沢 正敏

笛吹の未来に向かって、
農業人の底力！



神宮司正人

市民の声を届けるため
市民目線で活動します



北嶋 恒男

議会が変われば市が
変わる！

教育厚生常任委員会



前島 敏彦

多様な民意を吸収し、
市民と共に前進あるのみ



小林 始

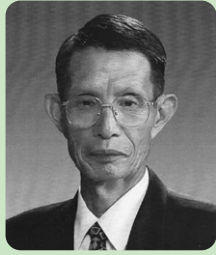
湯けむり、桃源郷、住んで
良かった笛吹市の推進



川村 恵子

心こそ大切！女性の視点
で笑顔輝くまちづくり！

建設経済常任委員会



神澤 敏美

住民の生活基盤整備と各スポーツ施設の充実



大久保俊雄

合併8年正念場、元気発信・情報発信、全力投球します



古屋 始芳

元気ふえふきをキャッチフレーズに頑張ります



海野利比古

活力ある笛吹市を目指して、活動します



中村 正彦

笛吹の目となり耳となり市発展に尽力します



中川 秀哉

安心・安全の魅力ある笛吹市を目指します



亀山 和子

提案し市民の皆さんといっしょに行動します

議会運営委員会

中村 正彦 保坂 利定 志村 直毅
北嶋 恒男 海野利比古 大久保俊雄
中川 秀哉 亀山 和子

議会広報編集委員会

荻野 謙一 岩沢 正敏 梶原 清
神宮司正人 古屋 始芳 神澤 敏美

リニア対策特別委員会（H24.12.19～）

大久保俊雄 岩沢 正敏 志村 直毅
渡辺 正秀 保坂 利定 北嶋 恒男
小林 始 海野利比古 中村 正彦

東八代広域行政事務組合議会議員

前島 敏彦 野澤今朝幸 志村 直毅
北嶋 恒男 海野利比古 保坂 利定
渡辺 清美

東山梨行政事務組合議会議員

前島 敏彦 志村 直毅

東山梨環境衛生組合議会議員

野澤今朝幸 神宮司正人

青木が原ごみ処理組合議会議員

前島 敏彦 野澤今朝幸 北嶋 恒男
神宮司正人

峡東地域広域水道企業団議会議員

前島 敏彦 野澤今朝幸 海野利比古
古屋 始芳 神澤 敏美

釈迦堂遺跡博物館組合議会議員

前島 敏彦 野澤今朝幸 北嶋 恒男
神宮司正人 川村 恵子 上野 稔

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員

前島 敏彦 野澤今朝幸 岩沢 正敏
小林 始

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員

神宮司正人

監査委員

小林 始

党派結成一覧

笛新会	北嶋 恒男 神澤 敏美	野澤今朝幸 荻野 謙一	海野利比古 神宮司正人	保坂 利定	岩沢 正敏
笛政クラブ	上野 稔	前島 敏彦	大久保俊雄	志村 直毅	
誠和会	小林 始	中村 正彦	古屋 始芳	梶原 清	
公明党	中川 秀哉	渡辺 清美	川村 恵子		
日本共産党	渡辺 正秀	亀山 和子			

= 代表者



倉嶋市長の所信表明 並びに行政報告

公平・公正・透明性の高い市政運営を推進します!!

桃源郷のイメージは、四季折々彩に満ちた風光明媚な地であること、人々に生業の憂いがなく、穏やかな笑顔を絶やすことがないこと、静かではあるが活気があること、よそから見ると誠に羨ましいまちであり、住んでみたくなるまちです。

その桃源郷実現のため、基幹産業の農業と観光の底上げに、力を入れなければと考えています。市の中心市街地である石和・春日居温泉の活性化は大きな課題ですが、幸い、他の温泉には見られない十分な空間的余裕があります。スポーツや医療・介護・健康等と結びつけた温泉観光など、可能性を追求し、誘客につなげるのが大事です。

農業振興に関しては、若者が就農できる農業を目指し、通年型の農業六次産業化に取り組んでいきます。また、歴史的な文化財を活用し、史跡・遺跡や、起源の古い神社仏閣などを観光資源として活用すべきであると考えます。

また、市民の安全・安心を確保し、「住んでみたくなるまち笛吹市づくり」を進めます。行政改革は待ったなしの課題であり、26年度からスタートする第3次行政財政改革大綱の策定にも取り組んでいきます。市民の皆様のおさまたげに真剣に耳を傾け、公平・公正・透明性の高い市政を推進していきます。

大型施設整備事業の状況

多機能アリーナ建設事業

事業の中止に向け、関係機関や業務委託先と協議しており、建設委員会も解散し、地権者を含む周辺の皆様には説明を重ねご理解を求めています。いただいた貴重なご意見は、市政運営の参考として活用していきます。

砂原橋架け替え事業

笛吹川左岸の橋脚3基の下部工・上部工製作が完成、残る橋脚も今秋水中に完成予定で、財政負担を考量すると事業の中止は選択しえないという判断に立たざるを得ないところです。

石和温泉駅周辺整備事業

今後事業を進め、期限内の完成を目指す方向で、議会や市民のみな様にご意見を伺います。極力コスト縮減を図り、適正な内容となるように取り組みます。

バイオマスセンター建設事業

用地買収に向けた用地測量、補償調査を委託し作業していますが、可能な段階で停止し、今後の方針を決めたいと考えています。

八代ふるさと公園拡張整備事業

全ての用地買収を終え、全体の9割以上のエリアの造成工事を進めています。完成を目指し、事業推進の方向で市民との対話を進めていきます。

第一次笛吹市総合計画の主な事業

1 市政施行8周年記念式典

10月12日の式典で、第147回直木賞を受賞された、石和町出身の作家辻村深月さんに、第1号となる

市民栄誉賞を授与したほか、功績者表彰、まちづくり表彰の授与を行うとともに、市政運営に尽力された皆さまに感謝状を贈呈しました。

2 仮称 笛吹スマートIC整備促進事業

中央道八代バス停付近に計画、現在、地権者をはじめ関係者への説明会を開催しており、28年3月の供用開始を目標に進めています。

3 消防広域化構想

市町村に今まで以上の財政負担が見込まれ、協議打ち切りと協議会解散が承認されました。課題であった職員充足率は向上を目指します。

4 子どもすこやか医療費助成金支給事業

25年4月から、対象年齢を中学3年生までに拡大し、子どもの成長と子育て世代の経済的負担軽減を図っていきます。

5 小中学校教室空調設備設置事業

石和西小学校他6校は9月に整備を終え、残りの10校も25年2月までの工期で整備工事を行っています。

12月定例議会における倉嶋市長の所信表明並びに行政報告を要約したものです。

平成24年12月定例議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対 一欠席

種別	案 件 名	笛新会					笛政クラブ				誠和会			公明党		日本共産党		結 果						
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	小林始	中村正彦	古屋始芳	梶原清		中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子	
条例制定 改正 廃止	・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定 ・介護保険条例の一部改正 ・し尿処理施設条例の一部改正 ・市営住宅条例の一部改正 ・市税条例の一部改正 ・子どもすこやか医療費助成金条例等の一部改正	—																						可決
	・八代総合会館条例等の一部改正	—																						可決
	・図書館条例の一部改正	—																						可決
	・老人医療費助成金支給条例の廃止	—																						可決
補正 予算	・一般会計補正予算（第6号） ・国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・介護保険特別会計補正予算（第3号）	—																						可決
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	—																						可決
	・公共下水道特別会計補正予算（第3号） ・水道事業会計補正予算（第3号） ・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第3号） ・一般会計補正予算（第7号）	—																						可決
	・東山梨行政事務組合理約の変更 ・青木が原ごみ処理組合理約の変更 ・青木が原ごみ処理組合から脱退に伴う財産処分 ・字の区域の変更 ・市道廃止	—																						可決
その他	・市道認定	—																						認定
	・人権擁護委員の候補者の推薦	—																						承認
人事	・副市長の選任 ・監査委員の選任 ・公平委員会委員の選任 ・大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・名所山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	—																						同意
	・ロタウイルス、水ぼうそう、おたふくかぜの予防接種に公費助成を求める請願（次頁趣旨掲載あり）	—																						採択
	・リニア対策特別委員会の設置	—																						可決

平成24年第1回臨時議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

種別	案件名	結果
選挙	・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	決定
選挙	・議長の選挙	決定
指定	・議席の指定	決定
選挙	・副議長の選挙	決定
選任	・議会常任委員会委員の選任について ・議会運営委員会委員の選任について ・議会広報編集委員会委員の選任について	選任
選挙	・東八代広域行政事務組合議会議員の選挙 ・東山梨行政事務組合議会議員の選挙 ・峡東地域広域水道企業団議会議員の選挙 ・東山梨環境衛生組合議会議員の選挙 ・青木が原ごみ処理組合議会議員の選挙 ・釈迦堂遺跡博物館組合議会議員の選挙 ・甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙 ・山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 ・八幡山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	決定

種別	案件名	笛新会			笛政クラブ			誠和会		公明党		日本共産党	結果											
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄		志村直毅	小林始	中村正彦	古屋始芳	梶原清	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子	
承認	・監査委員の選任																							承認

平成24年第2回臨時議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

種別	案件名	笛新会			笛政クラブ			誠和会		公明党		日本共産党	結果												
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄		志村直毅	小林始	中村正彦	古屋始芳	梶原清	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子		
承認	・一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認																							承認	
人事	・教育委員会委員の任命																								同意

種別	案件名	結果
選挙	・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	決定

請願

口タウウイルス、水ぼうそう、おたふくかぜの予防接種に公費助成を求める請願

(趣旨)

水ぼうそうやおたふくかぜは、6歳ごろまでにおよそ90%の子どもが罹患する感染症で、特に心配されるのは、おたふくかぜによる難聴の発症です。感染すると1、000人に1人以上の割合で難聴になるといわれます。

口タウウイルスによる腸炎は、生後6カ月から2歳までが好発年齢で重症化しやすく、2歳未満では10人に1人が入院するといわれています。しかし、これら3感染症の予防接種は自己負担になっており、3つの予防接種の自己負担額はおよそ4万5千円にもなり、負担が重いため接種率は2割から3割にすぎません。

健康維持や子育て支援の観点からも、ぜひとも公費助成を求めます。

人事

(年齢は議決日となります)

第1回臨時議会

監査委員に

小林氏の選任を同意

小林 始(62)
御坂町大野寺

第2回臨時議会

教育委員会委員の
任命に4氏を同意

相川 幸夫(70)
春日居町桑戸
桑原 庸五(62)
境川町寺尾
坂本誠二郎(65)
石和町中川
里吉 和子(72)
一宮町金沢

選挙管理委員会委員
及び補充員が当選

選挙管理委員
渡邊 岑二(72)
境川町寺尾
齊藤 政富(71)
八代町永井
生原 英喜(70)
春日居町小松
望月 治徳(65)
石和町河内
補充員
長坂 邦彦(70)
石和町松本
竹下 光廣(67)
一宮町一之宮
山本 保(64)
御坂町金川原
川合 久男(63)
石和町四日市場

第4回定例会

人権擁護委員に
4氏の推薦を承認

田草川睦美(67)
春日居町桑戸
酒井 明子(61)
一宮町竹原田
山田 順子(68)
一宮町中尾
三枝 千瑞(55)
一宮町狐新居

副市長の選任に
久保田氏を同意

久保田 克己(61)
一宮町塩田

監査委員の選任に
中川氏を同意

中川 啓次(61)
石和町中川

公平委員の選任に
飯室氏を同意

飯室 道男(72)
石和町松本

大積寺山恩賜県有財産
保護財産区管理委員会委員に
6氏の選任を同意

前嶋 一富(78)
一宮町東新居
村松 朝雄(78)
一宮町土塚
中川 光治(57)
一宮町神沢
石山 徳夫(72)
一宮町新巻
三枝 玄正(66)
一宮町金沢
古屋 實(71)
一宮町狐新居

名所山恩賜県有財産保
護財産区管理委員会委員に
7氏の選任を同意

龍澤 富雄(65)
境川町藤袋
中村 正一(64)
境川町藤袋
七澤 純次(65)
境川町藤袋

沼田 文次(41)
境川町藤袋

北野 芳方(63)
境川町藤袋
山本 友貴(61)
境川町藤袋
橋田 宏明(53)
境川町大窪

兜山外五山恩賜県有財
産保護財産区管理委
員に7氏の選任を同意

山内 岩男(71)
石和町松本
奥山 幸長(71)
春日居町加茂
曾根 嘉一(84)
春日居町徳条
小川 勝男(87)
春日居町寺本
雨宮 佳宏(77)
春日居町小松
三枝 恭正(68)
石和町松本
芦澤 秀寿(64)
春日居町熊野堂

12月
定例議会

市民の声

一般質問

12月定例議会では、11人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどしました。以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 通学路の安全対策は

答 関係機関と連携し進める



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 京都亀岡市の登校時の悲惨な交通事故等を受け、全国的に緊急合同総点検が実施された。笛吹市の結果は、

点検結果を迅速に施策に反映すべきだ。

安全対策の継続的な取り組みは、

仲澤和朗教育部長 50力所の合同

点検を実施し、通学路の変更等早期

実現が可能なもの、歩道設置等一定

の時間が必要なもの、合計103の

対策案を作成。既に33対策を講じ、今年度中に26

対策を予定。危険箇所の把握と対策案の合意形

成、早期実現に努める。

問 子育て環境の整備は

渡辺議員 子ども・子育て会議の

設置は。

事業計画策定に向けたニーズ調査の経費計上と、準備組織の立ち上げは。

制度についての情報提供と支援体制づくりは。

年少扶養控除廃止に伴う、私立幼稚園就園奨励費補助金の扱いは。

答 支援、充実に努める

荻原明人保健福祉部長 「子ども・子育て支援事業計画」策定のため、

会議の設置を検討する。

庁内関係部署において準備組織を設置し、その組織内において、調査

方法を検討し予算措置を講じたい。

詳細が国から示され次第、情報提供に努める。

担当課及び支所の窓口対応のほか、児童センターや子育て支援センター、

保育所などでも気軽に相談に応じられる体制を検討する。

25年度からは補助金交付規則を改正し、従前どおりの補助対象になるよう配慮したい。

問 リース方式でLED防犯灯導入を

答 技術面の開発状況、価格動向等を踏まえ検討



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 千葉県茂原市の先進事例に習い導入を。

市内の防犯灯総数は。

23年度、市が管理する防犯灯の電気料金は。

防犯灯の修繕費用は。

LED化によるCO2排出量の削減効果は。

河野修市民環境部長 茂原市は市が所有する防犯灯すべてを10年間のリース方式でLED防犯灯に切り替え、LED化により電気料金・修繕費の削減が見込まれるため、先進事例も参考に検討したい。

20ワット蛍光灯を中心に7、965基を設置している。

約152万円。東京電力の値上げで、24年度は約198万円に増える

と見込まれる。
器具交換等、31力所約92万円。蛍

光灯管など消耗品の交換は行政区の負担。

全ての防犯灯をLED化した場合、年間約230トンのCO2削減効果が見込まれる。

問 小中学校選択制の導入は

中川議員 通学上の安全確保、学校と地域の連携の必要性から通学区域の見直し、学校選択制の導入を。

答 選択制には慎重

坂本誠二郎教育長 学校選択制は保護者による選択、特色ある学校づくりによる活性化などのメリットがある反面、地域との連携の希薄化、学校間格差の発生等のデメリットもある。

通学区域については調整区域を設けてきた。石和旧岡部地区についても弾力的に対応していく。

問 今後の市政運営方針及び市長の総合計画への取り組みを問う

答 最上位計画として尊重



大久保俊雄議員
(道政クラブ)

大久保俊雄議員 信頼される市政実現に向けたキーワード、基本姿勢は

総合計画が市民生活全般に関わる「25年度から後期計画を迎える「笛吹市総合計画」への取り組みは。継続性等についての市長の基本認識は。

倉嶋清次市長 地域イメージとしての「桃源郷」、「地域力一番」が

市政運営のキーワード。真に必要な住民サービス水準の確保、健全財政の確立、透明な市政運営が基本姿勢。今月から各町の会場で市民ミーティングを開催する。

総合計画審議会、市民ワークショップなどにおいて市民の声をいたしながら、議会の議決を経て策定された計画。市政の最上位計画として今後も尊重していく。前期5年間を検証し、後期計画を策定する。「選択と集中」を基本的考えとし、真に

必要な事業は何かを追求し市政運営を進める。

問 実効性のある観光

振興策に関する見解は

大久保議員 温泉・自然・農業を活用した具体的「観光戦略」は。

地域活性化総合特区構想のスケジュールは。

実効性ある観光誘客策のための改善は。

年間を通じ、市を賑やかにする施策は。

答 温泉と果実など資源を活用

倉嶋市長 交流体験型観光を充実させ、相乗効果を発揮できるように多業種連携に努める。

取り組みや事業案を示せる段階ではないが、今後の重要課題。

誘客効果の大きい各種イベントの内容を検討し、皆様のご意見をいただき見直しを図る。

温泉郷を核に産官学民一体のオール笛吹の事業を展開したい。

問 大型プロジェクトの今後の取り組みは

答 アリーナは中止、バイオマスは停止し検討する



神宮司正人議員 (笛新会)

神宮司正人議員 今回の市長選挙で審判が下った。多機能アリーナ建設中止が民意だ。市長は所信表明で、バイオマスセンター建設についても事業の停止に言及した。多くの市民は市長の決断に賛辞を送っている。「多機能アリーナ建設」、「砂原橋架け替え工事」、「石和温泉駅周辺整備」、「バイオマスセンター建設」、「八代ふるさと公園拡張整備」の5大事業に対する市長の認識を再確認したい。

「砂原橋架け替え工事」については橋脚6基のうち3基と上部工製作は完成し、残り3基も発注済みであり、周辺道路整備も地権者の理解を得て進行している。中止の場合、撤去費用など財政負担は莫大となり、選択しえない。

「石和温泉駅周辺整備」は市の玄関口として欠かせない事業。JR東日本に委託している実施設計の内容を検証し、見直し可能な部分はコストの縮減を図りつつ、26年度の完成を目指す。

「バイオマスセンター建設」は可能な段階で停止し、市民ミーティング等を通じ方向性を決めたい。「八代ふるさと公園拡張整備」の発注済工事は、繰り越した前年度の交付金を充当、今年度中の完成が必要。土地収用法上の事業認定を受け、公益上の有用性が大きい。工事継続はやむを得ない。今後発注を予定している工事についても、事業を推進する方向で市民対話を進めたい。

倉嶋市長 「多機能アリーナ建設」は中止以外の選択肢はない。他の事業については、本来は一度立ち止まり再検討すべきと考えるが、中止もしくは停止した場合に生じる財政的損失等にも配慮が必要。市の将来を見据え、場合によっては苦渋の決断をしなければならぬ現状である。

問 地域活性化に総合特区導入について

答 素案づくりに取り組む



神澤敏美議員 (笛新会)

神澤敏美議員 市長は選挙公約で、

笛吹市の果樹・温泉・自然資源を生かした、地域活性化総合特区の導入をうたった。疲弊している石和温泉郷復活のための施策は。

石和温泉駅南北の活性化策は。日本一を誇る農産物の有効活用計画は。

倉嶋市長 全国に誇れる自然と果実、温泉資源の総合的な活用、観光関連組織の連携強化を図り、相乗的な誘客活動を行いたい。

駅南側は道路、公園等公共施設を整備し、良好な市街地の造成を図る目的で、土地区画整理事業を22年度に完了。駅北側は南北自由通路や国道140号とのアクセス道路の整備に併せ、駅舎改築を行い26年度内の完成を目指す。

問 就学援助の充実と教育施設改善を

答 洋式トイレ化と校庭の散水施設整備順次対応



亀山和子議員
(日本共産党)

亀山和子議員 「義務教育は無償」

が憲法の規定。就学援助の充実は、

学校グラウンドの散水施設設置は、

社会教育施設のトイレ改修は、

仲澤教育部長 クラブ活動や生徒

会活動にかかわる経費を学校予算に

計上し、間接的に保護者負担の軽減

を図っている。PTA会費も含め調

査検討する。

芦川小と浅川中の2校が散水施設

未整備。用水の確保などを含め年次

的な整備を検討する。

「学びの杜みさか」「いちのみや

桃の里ふれあい文化館」「芦川やす

らぎの里」などは洋式トイレが主体

だが、その他施設は和式が主体であ

る。スコレムセンターにつづき、年

次の改修を検討する。

問 合併「財政優遇措置」に関する基本認識は

答 将来像の実現を図る



渡辺正秀議員
(日本共産党)

渡辺正秀議員 合併特例債は優遇

措置ではない。地方交付税減額期に

対処するための準備資金と捉えるべ

きだ。

答 耐震化を重視

斉藤寿建設部長 景気低迷で住宅

新築需要が減退する中、工事を地元

業者に限定することで、地域経済の

活性化につながるものと認識してい

る。

リフォームの経済効果は認識して

いるが、市の厳しい財政状況を勘案

すると、木造住宅の耐震化に重点を

おきたい。県の耐震化建て替えへの

補助は23年度に打ち切られたが、本

市を含む3市町のみ補助を継続して

いる。

問 農業振興策は

り、原則であると考えている。

問 農業振興策は

渡辺議員 総合的な農業政策の検

討と確立は、

農業後継者確保等の支援策は、

TPP交渉参加についての市長の

見解は、

答 見直し強化を図る

倉嶋市長 「笛吹市農業振興行動

計画」により、施策を実施してきた。

今後はJAと連携し、営農相談等の

ワンストップ窓口化など、計画の見

直しを図る。

22年度から新規就農農業後継者支

援事業を行っている。24年度からは

イターン・Uターンの新規就農者を

対象とした支援事業を開始した。

今後は農業技術講習会や、国・県の

事業の紹介および将来の農業経営の

相談会等の支援充実を図る。

TPPについて、現時点では交渉

参加に反対。

問 福祉の充実は

答 介護しやすい環境を検討



川村恵子議員
(公明党)

川村恵子議員 介護者はトイレ付き添いや、下着購入などにおいてさまざまな誤解や偏見を持たれ、困っている介護者が多い現状だ。「介護マーク」を希望者に配布できないか。

軽・中度難聴とは、言葉として聞き取ることが大変な状態の難聴で、日常生活の困難さは決して軽くない。改善策に補聴器が有効だが、購入助成することができないか。

荻原保健福祉部長 現在、介護家族等からの要望は直接聞いていないが、介護しやすい環境をつくれるよう、前向きに検討する。介護マーク導入は県全体での取り組みが望ましいため、働きかけも行っていきたい。軽・中度難聴は26デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳交付対象外となり、補聴器購入時は自

問 市の果樹農業振興策は

答 光センサー選果機を整備



岩沢正敏議員
(ほく新会)

費となる。市内小学校では難聴学級を設置し対応している児童がいる。今後、補聴器の必要性がある方への支援のあり方を研究し、発達や成長と教育支援の側面から、検討していきたい。

問 災害時のホームページ代理掲載は

川村議員 非常時に住民への情報発信手段が断たれることを防ぐため、遠隔地の自治体に、ホームページを代理掲載してもらおう仕組みがある。災害情報の発信機能の充実・強化を図り、代理掲載に取り組む考えは。

答 問題もあるが研究したい

風間和仁部長 大規模災害発生時には、市の情報を相手方に伝えることができない事態も懸念される。今後有事の際の情報伝達手段の確保に努めていきたい。

問 市の果樹農業振興策は

答 光センサー選果機を整備

岩沢正敏議員 桃・ぶどう日本一の郷維持のため、現状を知る必要がある。収穫量と栽培面積、将来予想は。また、共選出荷と個選出荷の構成比、営農関係情報の伝達手段を考え直し、ぶどうの簡易雨よけハウスや、桃の糖度センサー共選体制の整備が急がれる。

新規・退職就農者はかりでなく、兼業農家の育成指導も重要だ。計画は。農地の鳥獣被害が増加しているが、その現状と耕作放棄地との関連、放棄地の有効利用、農地以外の利用は考えられないか。

豊角英人産業観光部長 2010年農林業センサスの栽培面積は桃1,405ha、ぶどう884ha。収穫量は推計値で桃が約2万4千トン、ぶどう約1万4千トン。2005年農林業センサスと比較し桃の栽培面積

はやや減少、収穫量はやや増加、ぶどうは栽培面積・収穫量とも減少。現状維持を目標に農業振興を図る。

共選出荷の取扱量は、農林業センサスからの推計値等を基に比較する方法で計算すると収穫量に対し約46%、安全で安定的に出荷できる、魅力ある集出荷体制の構築を、JAに働きかける。国の指導で防災無線による農業情報の伝達ができなくなり、携帯などへのメールに切り替え、希望地区には地区放送で伝達している。認定農業者向けに、経営体育成支援事業による補助等の支援策を行い普及していく。光センサー選果機は、補助金申請等の準備中で、来年度に向けて整備を進めている。

援農支援センターによる農業技術研修や、援農派遣などによる農作業の手助け等、充実に図りたい。

鳥獣被害面積は882a、被害金額は約3千万円に及ぶ。狩猟免許取得補助、電気柵整備等で被害減少に努め、耕作放棄地については、農地利用集積事業を活用する等、有効利用を図る。

問 市政運営の具体的方針は

答 健全財政維持を追求する



志村直毅議員
(笛政クラブ)

行財政改革と、市民参加や民間活力を進める。

問 防犯まちづくりは

志村直毅議員 前市政への評価は、大型事業に対する見解と対応策は、大型事業の凍結と中止では異なるが、説明責任と代替案の提示は、

本市財政は健全ではないという認識か。行財政改革の具体的方法は、

自治体行政のあり方、市長の見解と具体化策は。

倉嶋市長 総合計画は市民の合意でつくられ、これに沿ってきた市政は大いに評価。オンラインワン都市と「地域力一番」は重なるところ多い。市政に大きな影響与えかねない。適切に対応。

市民ミーティングを通じて説明、理解を得るよう努力する。アリーナが掲げた目的は検討する。

長期推計では健全でない。歳出削減と、産業活性化や市税増収などによる歳入確保に努める。

問 農業振興策は

答 農地集積を推進する



古屋始芳議員
(誠和会)

始まった。今後も農業委員会・JAふえふきなどと連携し、農地集積を推進していきたい。

古屋始芳議員 農業者の高齢化や後継者不足で、耕作放棄地や遊休農地が増加している。行政・JA・農業団体や組織の連携を強化し、地域農業施策構築が必要だ。農地集積の支援状況は。

農家女性（お嫁さん）の補助金や助成金はないが、嫁不足解決に制度資金導入を。

農産物の新ブランドとなる品種開発や、農産物加工品の研究開発をしたらどうか。

豊角産業観光部長 農地利用集積事業の「農地流動化奨励補助金」で、新たに5年以上の利用権設定を集積した農家に対し、最大10アール当たり8万円を補助している。また、本年度からJAふえふきに、農地利用集積円滑化団体として営農支援センターが設立され、農地貸付け事業も

問 公共施設の

答 防犯カメラは検討

山下真弥総務部長 地域巡回等により、緊急事案にも対応。犯罪や不法投棄の抑制効果は大きい。法投棄の抑制効果は大きい。

救命救急講習を受講。搭載は検討。2台の貸出し用AEDを有効活用。

防犯グッズを窓口に備え、夜間警備を委託している。不特定多数が利用する施設は設置も検討。

総務 常任委員会

12月12日、14日の2日間
委員会を開催。付託された
税条例の一部改正1件、24
年度一般会計補正予算1件
東山梨行政事務組合規約変
更1件の計3件を審査し、
賛成全員2件、賛成多数1
件で、いずれも原案のとおり
可決すべきものと決した。
主な質疑答弁は次のとおり。

総務部所管

- Q 前納報奨金関係で、住
民税は廃止し、固定資産税
のみ2分の1残す理由は、
A 報奨金対象者は全体の
54%、将来は廃止する方向
で段階的に対応していく。
Q 前納報奨金制度改正は、
納税意欲が低下する。
A 収納率の上下はみられ
るが、廃止で収納率に影響
あるとは考えていない。
Q 八代町南への消防団詰
所建設見直しは。



総務常任委員会入札契約制度研修会

- A 商工会の建物をつぶし
て造る予定で、解体費用を
地元区と調整している。
Q 観音寺の駐車場事業認
定の理由と目的は。
A 県に租税特別措置法の
控除手続きをとっており、
目的は公用車の駐車のため。
Q 市有地に駐車している
職員の費用負担は。
A 有料化の方向で検討中。
経営政策部所管
Q 合併特例債の資金借入
先は。

- A 基本は民間資金、機構
からも借り入れ可能。市内
金融機関と利率交渉後、事
業ごとに利率設定し決定。
Q 定例議会のインターネ
ット配信費用は。
A システム構築委託料に
50万円、配信サーバ利用料
が月5万円かかる。
Q 時間外手当増額は、特
別な理由があるのか。
A 庁舎の耐震工事に伴い、
住民系システム稼働準備の
ため土・日や、平日時間外
でないといけない作業があり、
手当増額を行うもの。
意見

市民ミーティング開催趣
旨は、大型事業の現状報告と、
市民意見を吸い上げる基本
姿勢を堅持してほしい。

教育 厚生 常任委員会

12月12日、14日の2日間
委員会を開催。付託された
条例の一部改正5件、24年
度一般会計補正予算1件、

- 特別会計補正予算3件、組
合規約の変更1件、条例の
制定2件、条例の廃止1件
財産処分1件の計14件を審
査し、賛成全員で原案のと
おり可決すべきものと決した。
主な質疑答弁は次のとおり。
保健福祉部所管
Q 指定地域密着型サービ
ス事業の人員、設備・運営
に関する基準を定める条例
の制定は、どんなサービ
スがあり市内の対象施設は、
要介護も受けられるか。
A 在宅の要介護者の訪問
介護、看護の24時間体制で
対応する事業など8事業、
要介護は誰でも受けられる。
Q 国からの条例改正だが、
本市独自のものがあるか。
A 国の基準をもとに作成
市独自の制定は、事業者の
不正請求の場合に対処でき
るよう、文書保存期限を2
年から5年間に延ばした。
Q 子どもすこやか医療費
助成金条例の一部改正で、
当初予算計上額は。
A おおむね3億4千万円。
Q 対象人数と金額は。
A 拡大分も含め中学3年
まで。中学生は2千人、本



御坂給食センター給排水管施設改修工事

年度より7千万円増見込み
 市民環境部所管
Q 青木が原ごみ処理組合脱退で、今後どうなるのか。
A 2月に組合議会議を開催し、市議会の議決後、協議書を組合事務局に提出し、その後県で受理され脱退が決定。共有財産処分は市議会で議決後、議案書・協議書を処理組合に提出する。

教育委員会所管

Q 御坂給食センター給排水管施設改修工事請負費1千万円の内容は。

A 平成11年に完成したが給排水管にひびが入り、水道水にさびが発生、給食を止め応急補修したが、根本的補修は冬休みとなる。耐用性があるステンレス管に代え、安全性を高めたい。

Q 体育施設電気料金の増額補正の理由は。

A 電気料金値上げと施設の積極的利用による増加。

建設 経済 常任委員会

12月12日、14日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件、水道事業会計補正予算1件、温泉給湯事業会計補正予算1件、字の区域変更1件、市道認定1件、市道廃止1件の計8件を審査し、賛成

全員で原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

建設部所管

Q 廃止・認定の延長が長い市道が多いが、内容は。

A 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合および砂原橋架け替え事業推進にかか

Q 市営住宅条例一部改正の内容説明を。

A 市営住宅の入居者資格に、地方税の滞納のないことを

明記した。

公営企業部所管

Q 配水および給水費修繕費1千万円の内容は。

A 給配水管の漏水が多く発生し、当初予算が不足。冬季の水道管破裂の修繕に備えるもの。

Q 予算の追加・減額・組み換え金額が多大の要因は。

A 御坂浄配水場建設費は概算予算計上のため、今回の補正となった。



甲府・峡東地域ごみ処理組合事業推進に伴う市道認定・廃止現地視察



心に残るふれあい



石和町(無職)
小林 厚司

石和町に移り住み20余年になり、後期高齢者と呼ばれる年齢にあと数年となりました。家族は4人暮らし、子どもは2人も社会人となっています。退職し2年くらい経過した時のこと、突然、地区の役員さんが訪れ、地区役員を受けてくれないかと話があり、その役は青少年育成推進委員でした。断る理由がなくその役員を受け一年経過したとき、今度は青少年育成会という役を受けました。その時に毎年実施されている、小中高等学校の先生方と話し合う地区懇談会が開催され、子どもクラブの役員さんはじめ保護者の皆さんが参加され、先生方の紹介と参加者全員の自己紹介が行われ、子どもクラブの年間の行事計画が発表されました。毎年実施されている夏休みのキャンプの計画で、対象は地区の小学4年生以上と、若干の中学生となっており、父兄が引率するものでした。その準備は大人がすることになり準備万端に整え、最後に食材の調達が残りましたが、知り合いの農家の人にこの話をすると、野菜果物等々は「すきなだけもっていってくれ」と言われ、言葉にあまえてプレゼントしてもらいました。移り住んでからわずかな期間でしたが、こんなふれあいの輪が広がったことを、今でも懐かしく思い出されます。

TPPについて考える



境川町(自営業)
宮川 公徳

日本は世界最大の食料輸入国で、世界の輸出品の2%を占めるにすぎないが、世界の食料の10%を消費し、輸入食料の3分の1を廃棄している。世界的に大きな問題で、日本人の贅沢な食文化改善の必要性を感じる。TPPが騒がれている。太平洋をの広い地域の国が参加している。自由貿易圏を作ろうという構想が、自由貿易圏を農産物の大量輸入で多くが農業をやめ、結果、農業関連のGDPが減少し、失業率に繋がると予想している。現在のGDPが14%に下がる。食糧自給率も現在の40%が14%に落ちると予想している。経済産業省は参加したほうが利益になるといっている。参加しないとアメリカやEUと独自の自由貿易協定を結んだ韓国・中国が躍進し、結果、日本のGDPは10%・5兆円も減少すると予想。雇用も大きく失われるという。政治家や財界人も、賛成・反対で意見が分かれている。自由貿易は世界の流れでもあり、日本だけの鎖国を続けることは現実的に困難なものであると思う。個人的結論として、参加はやるべきで、個別の制度の充実や、国内の農業を高めなければならない。努力し、生産性を高める努力を怠らなければ、農業、地域産業を育て、地域振興を進めるといえる。日本の農業を支える文化を守ることが、更に協働を進め、地域文化を守ることが、更に協働を進めるといえる。



新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるにあたり、7町村が合併、笛吹市が誕生して8年が経過しました。

多くの施策・事業等々の課題が山積みの中、新市長倉嶋市政の誕生と新議会議員の船出となります。ひとつひとつを市民目線で検証し議論を重ね、是非々の立場でいくの新しい議会運営に取り組みしていきます。

昨年の12月2日には、思いがけない笹子トンネル天井落下事故が起きました。笛吹市内在住のご夫婦も犠牲となり、国土急成長時代に造られた構造物の老朽化が原因とされています。

その時代には造ることだけに夢中になり、管理することをあきらめ、市民生活の安心安全を守らなければなりません。ここに謹んで犠牲になりませんでした。ここに謹んで犠牲に祈ります。

また、一昨年の東日本大震災の傷跡はまだまだ復興が遅れ、毎日大変な思いで過ごし故郷に帰れない人々が多くおられます。一日も早い復興と元の生活に戻れることを国政にお願いするところです。

今後とも健全な市政運営のため多くの市民の皆さまのご意見をお聴かせください。(荻野 謙一)

3月定例議会は2月22日から3月19日までの予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。